



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 漆原 摂子（勝浦 RC）

PHS と PPS

PHS(ポール・ハリス・ソサエティ)とは、年次基金やポリオプラス基金等へ、毎年1,000ドル以上をご支援くださる方への個人の認証で、世界157ヶ国に35,000人の会員がいます。PHS 会員によるご寄付は、ロータリー財団全体の寄付総額の21%以上、またロータリー財団年次基金の寄付総額の23%以上を占めています。今年度日本では、各地区10名の増員を目標としていますので、是非クラブ会員の皆様へお声がけ下さい。

PPS(ポリオ・プラス・ソサエティ)は、PHS よりも少額-年間100ドルをポリオプラス基金へご支援くださる方への認証です。こちらも今年度の日本の目標値は、各地区50名の増員です。PPSの登録は、各地区で取り纏めとなっておりますので、根絶まであと少しのために、併せてご協力をお願い申し上げます。



恒久基金

年次基金が今日のロータリー活動を支える基本的なご寄付ならば、恒久基金へのご寄付は、未来において持続可能なプロジェクト実施のための財源です。恒久基金は投資され、元本が支出されることはなく、収益の一部が活動資金となり、恒久的な支援となります。

今年の決議審議会で、「恒久基金に寄付した人をポール・ハリス・ソサエティ入会の対象とすることを検討するよう管理委員会に要請する件」が採択されました。今までは恒久基金への1,000ドル以上のご寄付は、ベネファクターという認証はございましたが、PHS 入会の対象外でした。今般の決議審議会の採択を受け、改めて管理委員会にて討議され、承認されますことを期待致します。

AGO 近藤かおり氏

国際ロータリー日本事務局財団室のAGO(寄付推進オフィサー)近藤かおり氏をご存じでしょうか？ロータリー財団のエキスパートで、地域毎の地区財団委員長会議などで、財団に関するレクチャーをいただいております。毎回感じるのですが、我々ロータリアンとはまた視点の異なる分析やコメントをいただけることです。私が所属する第2790地区でも、今年9月に開催されたロータリー財団セミナーで、近藤氏を講師として招聘し、地区内会員向けプレゼンテーションを実施していただきました。地区内会員からは、マンネリとなりがちな地区セミナーが変わり、新鮮で良かった、大変勉強になったとお声をいただいております。皆様の地区におかれましても、近藤氏によるプレゼンテーションを推奨致します。



美味しい、楽しい、優しい 台北国際大会 — All Japan で一万人の笑顔を！

第2地域 台北国際大会推進チーム 吉川 公章（名古屋南 RC）

2026 年ロータリー国際大会は、6 月 13 日（土）～17 日（水）、台北ドームをメイン会場として開催されます。RI 台北国際大会推進コーディネーター・出村知佳子さん（札幌北 RC）を中心に、日本地区チームが力を合わせて準備を進めています。日本からの参加目標は 1 万人。台湾は日本から近く、多くのクラブが友好関係を築く“心の距離の近い国”です。豊かな文化、美味しい食、温かな人々、そのすべてが私たちが優しく迎えてくれるでしょう。



㊦ 主なプログラム

6 月 14 日（日）開会式（午前・午後の 2 回の予定）

6 月 15・16 日（月・火）全体会議（午前）

6 月 17 日（水）閉会式（午後）

さらに、恒例の RI 理事主催親善朝食会も開催予定です。

日時：6 月 14 日（日）午前 7 時～ 会場：圓山大飯店（Grand Hotel Taipei）12 階
朝の台北を一望、美味しい朝食をとりながら国際的な交流の輪が広がります。

㊦ 登録状況と早期登録のおすすめ

11 月 3 日時点の登録者数は全世界で 31,130 人、そのうち台湾 22,918 人、日本 1,686 人。日本は現在第 3 位ですが、「台湾に次ぐ登録者数 10,000 人」を目指しています。

登録料は早期割引が適用されます：

12 月 15 日まで 475 ドル、2026 年 3 月 31 日まで 575 ドル、4 月以降 675 ドル

30 歳以下のクラブ会員・会員以外の方および同伴者には、さらにお得な特別料金が

設定されています。ぜひ My Rotary から早めの登録を！ 大会登録はこちら →

<https://convention.rotary.org/ja>



㊦ 国際大会に参加する意義

国際大会は、刺激・鼓舞・激励・情報共有の場であり、ロータリーの戦略目標を推進するための重要なフォーラムです。世界中のロータリー会員が一堂に会し、国境を超えた友情を育む貴重な体験ができます。参加した会員は「ロータリーの一員である喜び」を改めて実感し、退会率が低下する傾向があることも報告されています。クラブの仲間、ご家族、そしてロータリー未会員の友人にもぜひ声をかけ、台北ドームを日本の笑顔で満たしましょう！

㊦ 日本地区チーム紹介 日本地区のコーディネーターチームは以下の 3 名です：

- 第 1 地域：岡村 睦美（2770 地区・川口 RC）
- 第 2 地域：吉川 公章（2760 地区・名古屋南 RC）
- 第 3 地域：大橋 秀典（2660 地区・東大阪東 RC）

All Japan の力を結集し、「美味しい・楽しい・優しい」台北で、友情と奉仕の輪をさらに広げましょう。

台北でお会いしましょう！



第3 地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 延原 健二（大阪大淀 RC）

ロータリーの最重要課題は会員増強であり、そのためには、クラブ活性化が必要です。伸び続けていた世界のロータリー会員数は、2000 年前後をピークに減少に転じます。規定審議会において、2016 年には「柔軟性」をキーワードに例会と出席、会員身分に柔軟性を認め、2019 年には「さらなる柔軟性と革新性」を標榜し職業分類の制限廃止が決まりました。従来のロータリーを尊重しつつ、時代に即した組織として発展・進化を目指す決定でした。

■このような背景から生まれたのが「Action Plan(行動計画)」です。

RI は明確なビジョンを定めて(ビジョン声明)、それに向けての 4 つの優先事項を設けました。RI が定めた単年度の具体的目標に対して、各クラブに数値で目標を設定するように求めた点(数値化)に革新性がみられます。自クラブの目標を明確にすることにより、モチベーションの向上と評価の客観化を可能としました。



■「3-year rolling goals」

Action Plan の考え方の基、継続性、単純化、柔軟性が加味されました。

継続性：目標設定を単年度から 3 年先までに

単純化：重点目標項目を 6 項目へ(従来の 13 項目も併存)

柔軟性：毎年(定期的に)目標を見直し更新する

「3-year rolling goals」は、クラブの未来(3 年先)を考える仕組みです。

■「クラブサポートミーティング」

クラブに定期的に目標項目の数値入力をお願いして、その時点での目標達成度を可視化し、クラブの抱える悩みや問題点をクラブ間で共有します。さらに、ガバナーからクラブの悩みや問題点に対するアドバイスやサポートを得る制度です。「クラブサポートミーティング」はクラブの現状を見つめる制度です。この制度は 3 段階のミーティングから成ります。

① 招聘者：ガバナー、対象者：クラブ会長

② 招聘者：地域リーダー、対象者：ガバナー

③ 招聘者：RI 理事、対象者：地域リーダー

RI 理事と地区・クラブとの橋渡し役である地域リーダーを機能的に活用した制度でもあります。

■「3-year rolling goals」と「クラブサポートミーティング」、2 つの制度を活用してクラブ活性化を図り会員増強に繋がしましょう！

3-year rolling goals + クラブサポートミーティング

クラブの未来を考える

クラブの現状を見つめる



クラブ活性化、会員増強